



# CAMPシート

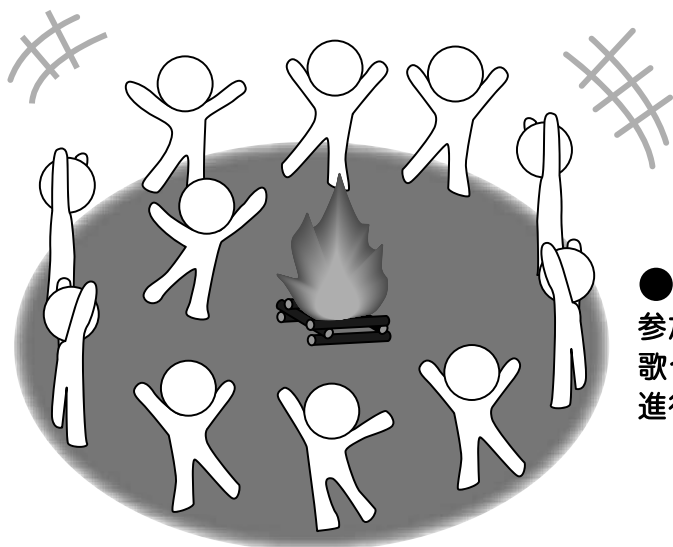
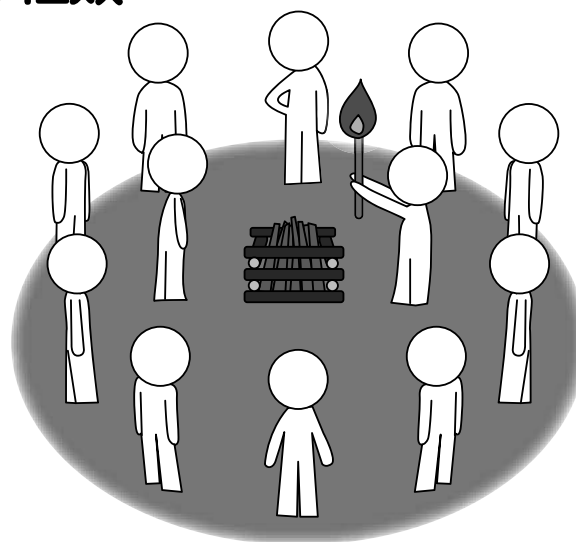
## キャンプファイアー Part1 ~プログラム編~

自然の中で過ごす夜。少し肌寒い中、仲間と夜中まで語りあう夜。たくさんの初めて会う友だちと少し緊張気味な夜。仲間と過ごしたキャンプの最終日、楽しかったことつらかったことをふりかえってわかちあう夜。そんな夜を彩るキャンプファイアー。様々なキャンプファイアーを知って、自分に合ったスタイルを見つけましょう。

### 基本編 キャンプファイアーの種類

#### ●セレモニアルファイアー（儀式の火）

最初の点火や最後の分火（火を分けること）、キャンプ長の言葉や参加者の誓いなど、厳粛な雰囲気の中で行われるファイアーです。

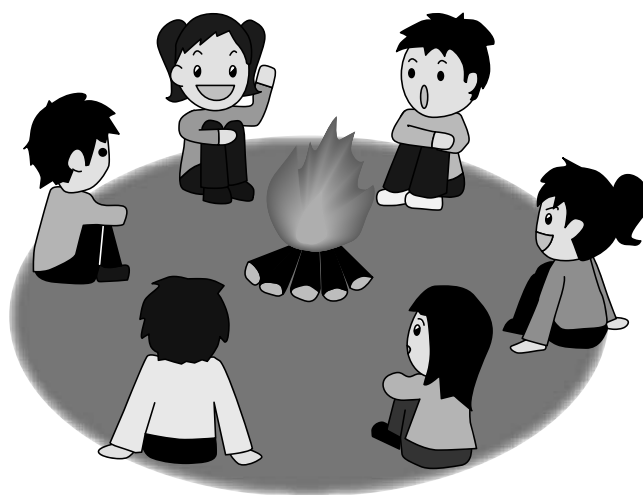


#### ●ボンファイアー（親睦の火）

参加者の親睦を深める目的で行われるファイアーです。歌やゲーム、グループのスタンプなど、楽しい雰囲気で行われます。

#### ●グループファイアー（団らんの火）

少人数のグループで、小さな火を囲んで過ごすファイアーです。グループワークを目的としたキャンプでは特に有効で、大人数のファイアーでは味わえないコミュニケーションや活動のふりかえりを行うことが可能です。



例えば、このようにプログラムを考えます。

#### ●キャンプ初日には…

初めて出会うキャンパーどうしが交流でき、キャンプへの意識を高めていくために、ボンファイアーを実施すると効果的です。

#### ●キャンプ最後の夜には…

ともにキャンプを過ごしてきた仲間と最後の夜を過ごし、キャンプ全体をふりかえる有効な手段となります。セレモニアルファイアーとボンファイアーを組みあわせたり、全体でのファイアーの後に、グループファイアーを行うと効果的です。



# キャンプファイアーの係

## 営火長(ファイアーチーフ)

キャンプファイアーの長です。キャンプのディレクター(キャンプ長)や年長の指導者に引き受けてもらいます。セレモニーの始めや終わりにスピーチをします。

## 司会者(エールマスター)

ファイアーの進行係です。歌やゲームの指導、スタンツの紹介なども行います。1人で行う場合と、司会と別にゲームの進行係をおく場合があります。

## 営火係(ファイアーキーパー)

トーチの準備、プログラムに合わせた火の大きさの調節、ファイアー中の安全管理など、ファイアーの裏方ですが、とても重要な役割です。  
※詳細は、シートNo.11で。

# キャンプファイアープログラムの組み方

キャンプファイアーのプログラムを組むにあたってまず考えるべきことは、「キャンプファイアーの目的は何か」ということです。「こうしなければいけない」というやり方はありません。目的に応じて自由にプログラムを組み立てましょう。



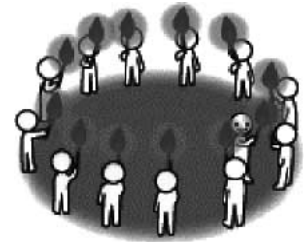
### 第1部：点火

キャンプファイアーに火をともし儀式で、厳粛な雰囲気で行います。(20分程度)



### 第2部：交歓

参加者が主人公となるスタンツや、歌、ゲームなどを中心に明るく楽しい雰囲気で行います。(40分程度)



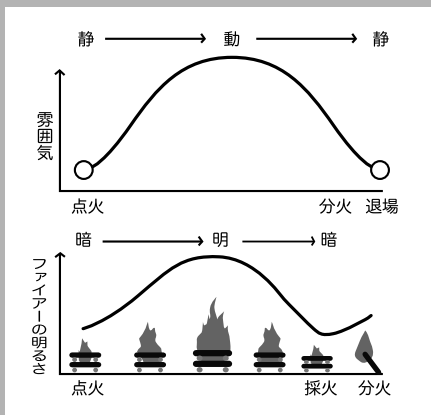
### 第3部：分火

中央の火から、キャンパーに火を分ける儀式で、厳粛な雰囲気で行います。(20分程度)

キャンパーの親睦やスタッフの紹介を目的とするなら、交歓の要素を中心にして、スタッフが交代で歌やゲームを指導することで、多くの交流を得られるプログラムとなります。また、キャンプ全体をふりかえり、全体で分かち合うことを目的とするのであれば、2部ではグループごとのスタンツをメインにすることで、各グループの様子を全体で共有することができるでしょう。

## キャンプファイアーの流れ

キャンプファイアーの流れには大きな波があります。1部と3部は儀式が中心となることから、静かな雰囲気で行い、2部は親睦を目的としているので、にぎやかな雰囲気で行います。2部の中でも静的なもの、動的なものをうまく組み合わせたいきましょう。



## 全員が参加者

キャンプファイアーは、見るプログラムではなく、全員が参加することによって楽しむことができます。

## キャンパーの年齢

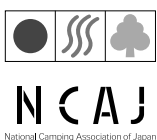
キャンパーの年齢によって集中できる時間は異なります。幼児や小学校低学年では1時間以内に収めるようにしましょう。また、高校生や大学生を対象としたキャンプでも1時間くらいにとどめましょう。歌やゲームについても対象に合わせたものを選びましょう。

## キャンパーの人数

キャンパーの人数が50人程度であれば、キャンプファイアーを囲んで、正面の人の顔が確認できるほどの大きさの一重の円で実施することができます。しかし、100人のキャンプファイアーでは一重の縁になるのは難しく、全員が1つのことに集中することが難しくなります。マイクや拡声器などの音響も必要になります。夜の森に住む生物などに配慮してできれば100名を超える大人数のキャンプファイアーは避けたいものです。

## ワンポイントアドバイス

キャンプファイアーの火は大きすぎではいけません。灯油もできるだけ使わないようにしましょう。火のぬくもりを実感できるようなキャンプファイアーにしましょう



アクティビティシート No.10 writer: 荒木恵理 illustrator: ほしのゆきこ director: 高瀬宏樹

発行 社団法人日本キャンプ協会キャンプインフォメーションセンター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

TEL 03-3469-0233 <http://www.camping.or.jp> E-mail: info@camping.or.jp

発行者の許可なく、この印刷物を複製することを禁じます。